



まなべあー通信

第4号
2006.11.8 発行

「まなべあー通信」では、新たな生涯学習推進構想策定に向けた取り組みをはじめ、「生涯学習」に関わる様々なテーマを取り上げます。

自治基本条例が制定されました!~みんなで参加 もっと住みよいまちづくり~

市民が主役のまちづくりを進めるための基本となる考え方や、市民、議会、行政それぞれの役割、市民参加の仕組みなどを定めた「自治基本条例」が、10月3日に市議会で可決、成立しました。(施行は来年〔平成19年〕4月1日です)

この条例の第23条第2項では、「市は、まちづくりについて、市民が自ら学び、考えることができる環境づくりに努めなければならない。」と規定されており、現在策定を進めている新たな生涯学習推進構想でも、この条例の考えを推し進めていく必要があります。

市民自治についての詳細 <http://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/>

第4回検討会議開催結果

平成18年10月27日(金) 第4回検討会議が開催されました。

新たな生涯学習推進の施策・事業について事務局から説明し、その後、意見交換が行われました。(意見の抜粋)

- ・大学等高等教育機関の役割として、研究成果の社会還元も一つの軸として入れたほうが良いのではないかと。
- ・札幌市の役割として、教育委員会だけではなく、他の部局と一緒に生涯学習を進めるということを構想に明記すべきである。指定管理者制度が導入されると、指定管理者同士が競争関係になるため成果が共有されにくく、それへの対応が求められている。市として関連施設の教育サービスの質を高める責任があるので、学習施設間の交流を市の教育行政が音頭をとりながらやっていけるような体制づくりが必要である。
- ・地域における受け皿づくりということでは、学校に来てもらうゲストティーチャーだけではなく、地域に出ていって職業体験をするという、学校から出て行くという視点も必要。
- ・つなげる人がいると、いろいろ頑張っている人たちが全部つながる。そのため、キーマンの育成、キーマンの連携の仕組みを築くということをもっと強く謳った方がよい。
- ・自主的な活動につながる可能性を持っているグループや団体のリーダーたちの交流や研修も必要ではないかと。
- ・ハードにおけるレベルアップの方策として、市の公共施設を、コールセンターが窓口になるなどして簡単に案内できる支援システムがあればもっと利用しやすくなるのではないかと。
- ・外国のように、美術館に子どもたちが見学に行くというのは大きな学びになると思うのでその具体策があるといい。



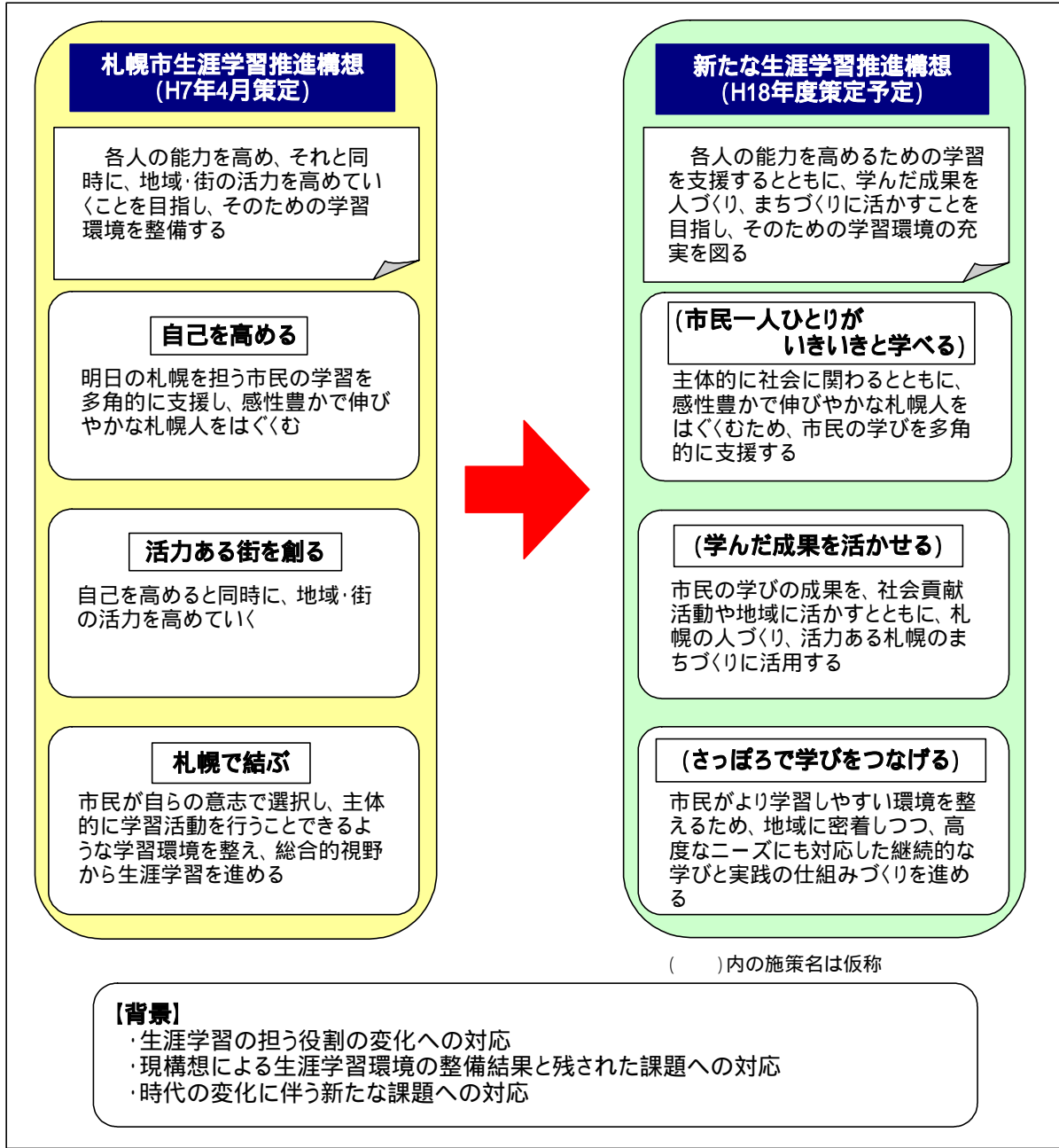
これらの意見について、今後、新たな構想の素案づくりに反映させていきます。

(裏面に続く)

【現構想との比較～第4回検討会議資料から～】

まだ協議の途中のため、基本施策名は仮称です。

年明けにパブリックコメントを実施し、皆様からの意見を募ります。



【第5回札幌市生涯学習推進検討会議】

日時：11/14（火） 10:00～

場所：札幌市教育委員会 4階 教育委員会会議室(中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル)

詳細につきましては、こちらをご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/gakushu/suishin/newkoso.html>

札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課
電話 011-211-3871 FAX 011-211-3873
E-mail manabi@city.sapporo.jp